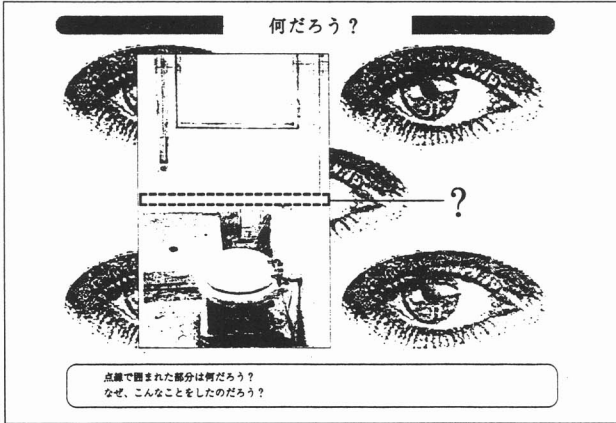


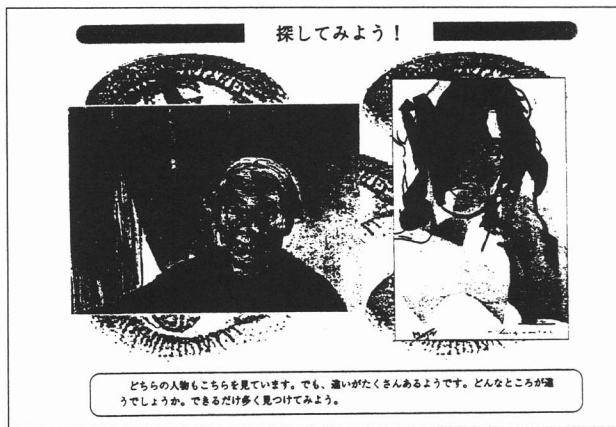
③ 「何だろう？」（対象作品：「トイレと窓」  
アントニオ＝ロペス＝ガルシア）

対象作品の特徴的な一部分に注目させ、その意味についてのとらえ方を引き出すとともに、表現意図などについて考えさせるもの。



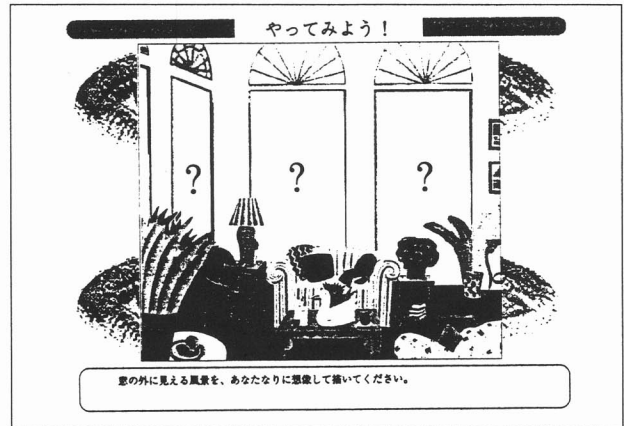
④ 「探して見よう！」（対象作品：「老婦人の目」  
ケーテ＝コルヴィッツ、「ミック＝ジャガー」  
アンディ＝ウォーホル）

2つの作品を比較させ、その相違点から作品を見る視点を引き出すとともに、表現効果などについて考えさせるもの。



⑤ 「やってみよう！」（対象作品：「センター  
アイランド」トーマス＝マックナイト）

対象作品の一部をコンピュータ処理によって消去し、その部分に想像的な加筆をさせることにより、能動的に作品を味わう体験をさせるためのもの。



「ワークシート2」は、次のように作成した。

演習1

「トイレと窓」の作者が用いた手法に、あなたなりに名前をつけて、簡単に解説してください。前回のワークシートの回答に見られるたくさんの意見などを参考にしながら、考えてみよう。

手法名

手法の解説（★ 文章だけでなく図で示すなど、工夫して書いてください。）

演習2

- 次の3つのうちどちらか一つを選んでやってみよう。（選んだほうの番号を○で囲んでから始めてください。）

- ① 「トイレと窓」の作者が用いた手法は、あなたの身近なところにも見られないでしょうか。思いついたものをできるだけ多く書いてください。
- ② 「トイレと窓」の作者が用いた手法によって、簡単な作品を描いてみよう。（立体作品やデザイン表現のアイデアスケッチでもおもしろい。）

2 指導過程について

指導過程を次のように立案した。

	教師からの提示・提案	生徒の活動	教師からの支援
第1次 作品についての 「問いかけ」等	○ ワークシート1の提示 ・ウォーミングアップ ・見つけよう！ ・何だろう？ ・探してみよう！ ・やってみよう！	・自分なりの視点や見方で「問いかけ」等に答える。	・視点や見方の分類と整理（事後）
第2次 視点や見方など の比較・検討	○ ワークシート1の回答結果の提示  ○ ワークシート2の提示 ・演習1	・多様な視点や見方を知る。 ・他の生徒と意見交換しながら自分の視点や見方を検討する。  ・他の生徒の視点や見方を参考にして自分の視点や見方を広げ、深める。	・多様な視点や見方に気づかせるとともに、それらへの共感を示す。  ・個別にアドバイスをを行い、視点や見方の広がりや深まりを支援する。
作品の読みとり	○ ワークシート2の提示 ・演習2	・自分なりの作品の読み取り方を表現する。	・個別に作品の読み取りに対して共感を示すとともにアドバイスをを行う。

指導過程